

【FD計画プロジェクト】

FD計画プロジェクト・リーダー 伊藤マモル 法学部教授

1 活動目的

教員ならびに教育の質的向上を図るための方策及び恒常的な検証を推進するための全学的なFD活動推進に資する関連情報を、学内学外を問わず収集し分析を行う。これらに基づき、FD活動推進にむけた諸施策を主として学内関連会議などへ提案を行う。

2 活動計画

(1) シラバスの有効活用に向けた施策

- a 昨年度の施策開発プロジェクトにおける2013年度のWebシラバス改訂に向けた取り組み(学内外のシラバスおよびガイドラインの調査、適切なシラバスの在り方についての検討等)の結果を踏まえ、今年度は学内におけるシラバスの有効活用に向けた方策について、特にWebシラバスの有効活用を重点的に検討する。
- b 本学教員および学生双方に対するシラバスに関する基本的理解の浸透を促すとともに、シラバスで提供される情報の質や量に偏りを生じさせないための施策を議論し、シラバスの質的整備と拡充を深化させるための改定に資する施策に関する提言をまとめる。
- c 具体的には、他の授業との関連性、学生の主体的学びの確立に有益な内容、科目特性を考慮したシラバスデザインなどに関して検討し、本学での有効活用に向けた改善課題などを提案する。

(2) 大学院におけるFDの展開

- a 他大学大学院におけるFD導入に関する先行事例を収集し、本学大学院に馴染むFDの可能性を議論する。
- b 大学評価室が実施したアンケート(卒業生アンケート)、および授業改善アンケートなどの公表済みで利用可能な資料をもとに、大学院に関する情報を分析し、今後のFDの展開のあり方についてその方向性を検討し、提言をまとめる。

(3) 学内向けポートフォリオに関する情報提供

- a 本学教員におけるラーニング・ポートフォリオに関する基本的理解の浸透を促すための先行事例の情報提供手段に関して、他プロジェクトとも連携し、具体的な施策を検討する。

(4) 中長期的なFD活動についての検討

- a 各学部・研究科、IT関連センター、図書館、および大学評価室との連携体制の構築を目的に、「法政大学教育開発支援機構」の中でのFD推進センターの役割の明確化と学内への周知について、その検討課題を抽出する。
- b 教員ならびに教育の質的向上を図るための方策及び恒常的な検証を目的に行ったエビデンスに関して、教育改善、コミュニケーション支援、初年次教育支援、専門職養成、キャリア支援、生涯教育などをキーワードとして幅広く収集し、学内に提供する。
- c FD活動に関連したシンポジウム、フォーラム、学部や大学院に特化したワークショップ、FD学生の声コンクール作品などからの情報収集結果をもとに今後の計画案を検討する。

以上